

本市の環境の現状や計画の進捗状況を踏まえ、緊急性・重要性が高く特段の取組が必要な分野を「重点分野」として位置付けています。環境要素に係る重点分野として、「大気汚染の低減」「化学物質の環境リスクの低減」「緑の保全・回復」「地球温暖化防止対策の推進」「資源の有効活用による循環型地域社会の形成」を掲げています。また、政策手段に係る重点分野として、「環境教育・環境学習の推進」「市民、事業者、市のパートナーシップの構築」を掲げています。

重点分野

1

大気汚染の低減

～ディーゼル車を中心とした自動車排出ガスによる大気汚染の低減～

●大気汚染の状況●

【重点分野の目標の達成状況】

■自動車の窒素酸化物排出総量【目標値：1,010トン】

2005年度の排出総量は2,708トンであり、2000年度比20%減少

■自動車の粒子状物質排出総量【目標値：172トン】

2005年度の排出総量は108トンであり、2000年度比82%減少

本市では、二酸化窒素、浮遊粒子状物質（SPM）などの大気汚染物質を住居地域等に設置している一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）9局及び幹線道路沿道に設置している自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）9局で測定しています。

2008年度の対策目標値達成状況は次のとおりです。

・二酸化窒素（NO₂）【目標：達成率100%】

一般局全局で対策目標値を達成し、自排局では9局中6局で達成（達成率83%）しました。

・浮遊粒子状物質（SPM）【目標：達成率100%】

一般局及び自排局全局で対策目標値を達成（達成率100%）しました。

信号待ちアイドリングストップ・エコドライブキャンペーンを実施

平成20年10月～12月の3か月間、川崎臨港警察署前交差点において、地元企業・事業所等と協力してアイドリングストップを呼びかけるキャンペーンを展開しました。キャンペーンでは、池上・水江地区を定期的に走行する大型トラック等にアイドリングストップやエコドライブの実施を徹底してもらうことにより、大気環境の改善効果を期待する社会実験として、信号と連動する表示板を設置し、信号待ちのアイドリングストップやエコドライブを呼びかけ、多くの方に参加いただきました。



キャンペーン活動の様子

